

『環境と経済の好循環によるゼロカーボンシティを目指して』



SDGs未来都市
北九州市



令和3年3月19日
北九州市長 北橋健治



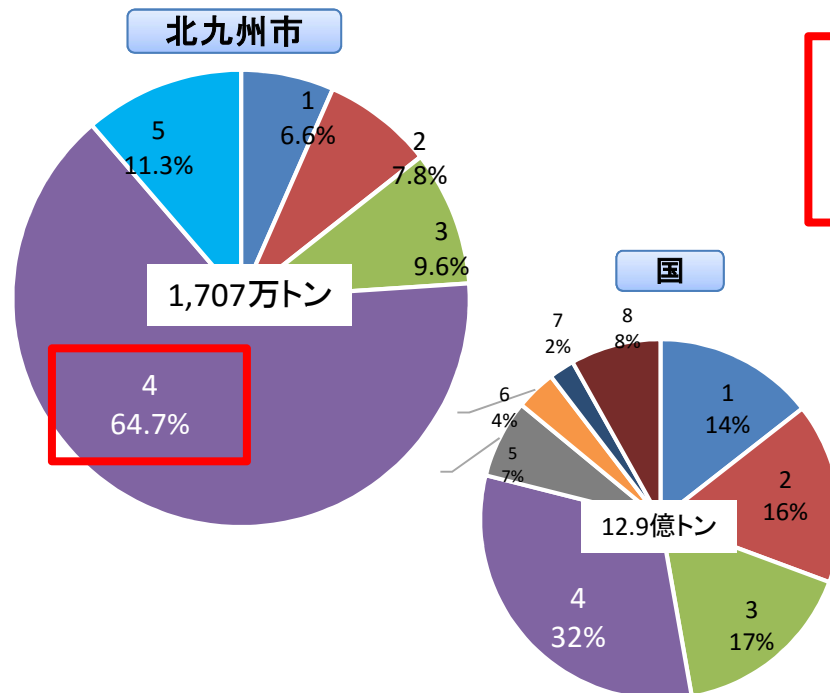
「環境と経済の好循環」によるゼロカーボンシティ

- 産業都市・北九州市では「脱炭素社会の実現」は大きな課題
- 温暖化への対応は、産業構造や経済社会の変革をもたらす大きな成長につながると発想を転換



産業都市における【環境と経済の好循環】
＝「北九州モデル」を構築し、国内外への展開を目指す

CO₂の排出状況(2017)

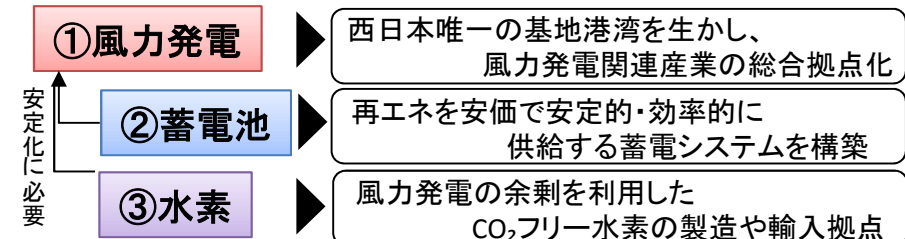


ゼロカーボン実現のための5つの柱

- I エネルギーの脱炭素化
- II イノベーションの推進
- III ライフスタイルの変革
- IV 気候変動に適応する強靱なまち
- V 国際貢献

「北九州市グリーン成長戦略」を策定予定 (R3中)

(1) 脱炭素エネルギーの戦略的確保



(2) イノベーションの早期実現の後押し

- ・ 産学官の連携による人材育成
- ・ 国と連携した制度面・財政面での企業活動の後押し

「蓄電システム先進都市」を目指して

**2025年度までに全ての公共施設（約2,000施設）
を再エネ100%電力化します**

都道府県・政令指定都市では最速

取組の柱と将来の姿

- (1) **2025年度までに全公共施設を再エネ100%電力化**
 - ・市内再エネ発電所の電力を利用(エネルギーの地産地消)
- (2) **市内全体への普及**
 - ・「再エネ100%北九州モデル」による再エネ普及
- (3) **連携中枢都市圏への拡大**
 - ・北九州都市圏域(6市11町)での脱炭素の推進



**「蓄電システム先進都市」の構築を通じた
「脱炭素ドミノ」への貢献**

(1) 2025年度までの公共施設再エネ100%電力化

対象施設



本庁舎・区役所



市立小中学校



市民活動施設
(市民センター等)

計800施設

市の公共施設
切替完了

計2,000施設



社会教育施設



文化体育施設

計200施設

2021年度

2022～23年度

2024～25年度

再生可能エネルギーの調達量に応じて、供給先を順次拡大

市内の電源



ごみ発電
(3焼却工場)



メガソーラー



陸上風力



バイオマス



ごみ発電
(1焼却工場の建替え)

(2) 「再エネ100%北九州モデル」による再エネ普及

「再エネ100%北九州モデル」とは

- 市内の再エネ普及に向けたロードマップ
- 2025年度までに「ステップ1」を達成した後、「ステップ2」、「ステップ3」で拡大を図る

ステップ1 【再エネ100%電力(市内再エネの供給)】



市内再エネ(ごみ工場含む)

北九州パワー等

再エネ100%電力の供給

2025までに
実現



市有施設

ステップ2 【自律型エネルギー施設(太陽光パネル+蓄電池 第三者所有モデル)】



設置可能な施設から段階的に

電力サービス構造の変革「所有から利用へ(第三者所有)」

蓄電池を制御(電気代の「安い時に蓄電」⇔「高い時に施設内で利用」)することで、施設内や再エネ発電所で発生する余剰電力を有効活用し、電気料金を低減

ステップ3 【自律型エネルギー施設 PLUS (ステップ2+省エネ機器 第三者所有モデル)】



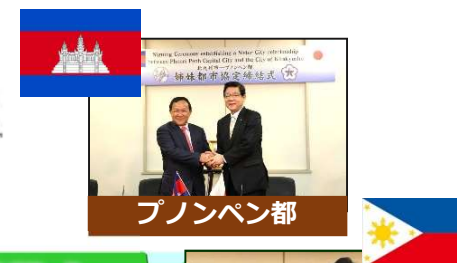
施設の新築、改修時に

電力サービス構造の変革「所有から利用へ(第三者所有)」

「ステップ2」に、省エネ機器の導入を加えることで、消費電力量を低減し、再エネ電力の消費を最小化

(3) 連携中枢都市圏への拡大

	北九州市
	直方市
	行橋市
	豊前市
	中間市
	宮若市
	芦屋町
	水巻町
	岡垣町
	遠賀町
	小竹町
	鞍手町
	香春町
	菊田町
	みやこ町
	上毛町
	築上町



さらに
国際貢献

アジア地域を中心とした世界の脱炭素化にも貢献

国と地方の連携による脱炭素の実現

産業都市として、2050年カーボンニュートラルは高いハードル

国と自治体が、より綿密な関係を構築し、
エネルギーやイノベーションなどの戦略的な展開によって利益を共有

国への期待

財政的支援

- ・第三者保有方式の普及に向けた交付金等の対象拡充
- ・複数年事業や、実証事業に活用しやすい柔軟な補助制度の創設

制度的支援

- ・洋上風力発電の推進に向けた、「日本版セントラル方式」の確立

人材育成支援

- ・再エネの普及や脱炭素技術に関する学校教育
- ・社会人教育への支援拡充

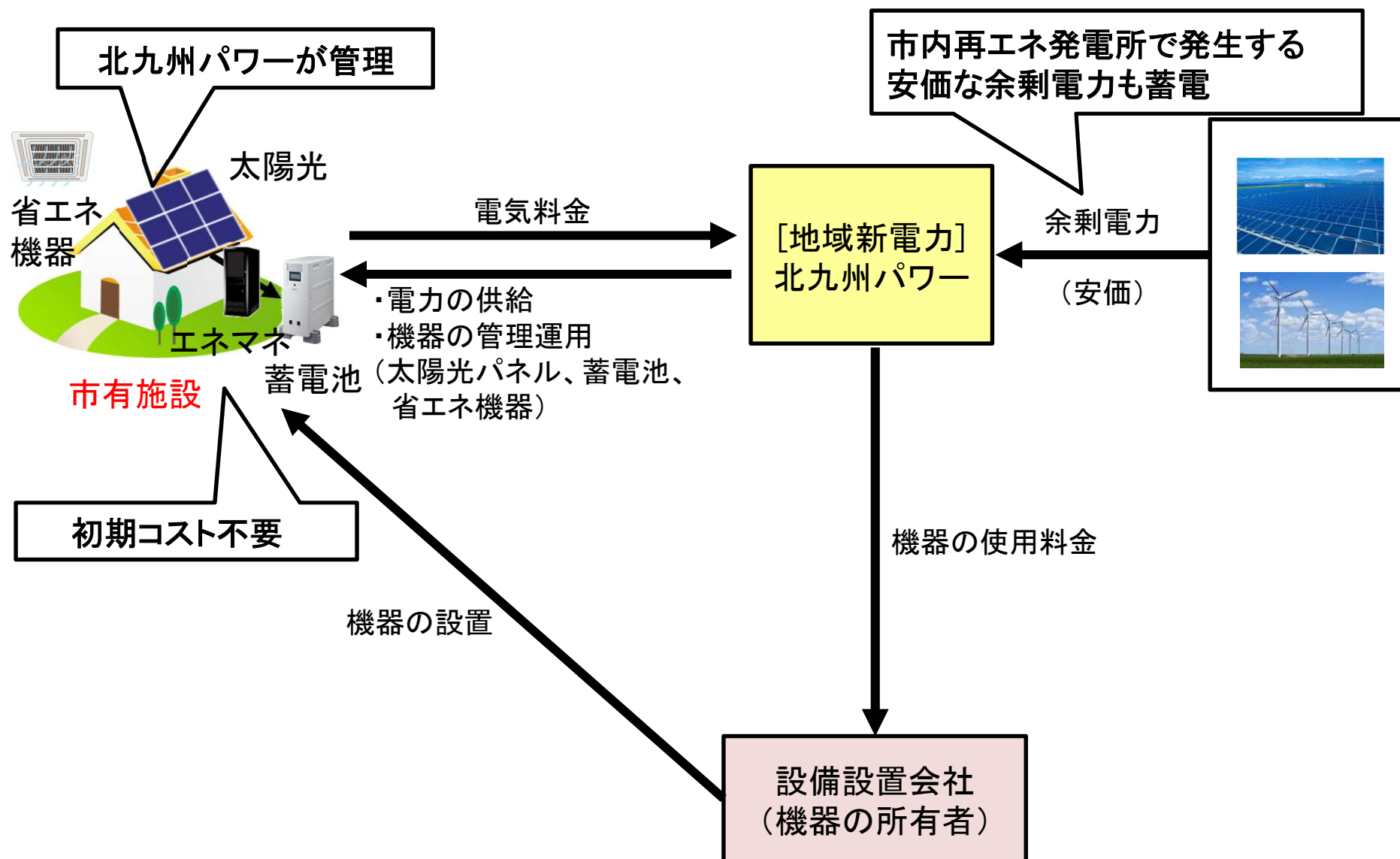
自治体や民間企業による、脱炭素の取組みが加速

《環境と経済の好循環》
産業の競争力強化

×

《気候危機からの脱却》
快適で安全・安心な生活

【参考】「ステップ3」のイメージ



【参考】エコタウンを利用したサーキュラーエコノミーの実践 ～蓄電池・太陽光発電パネルのリユース・リサイクル～

